**２０２３年７月28日(金)　高峰高原会場**

 櫂　未知子

 うるはしき標高にゐる道をしへ 島木　翠

 道をしへ農耕民族はこちら 河西志帆

 委ねるといふさざなみの風露草 島木　翠

 岩鏡靴のタッセル揺らせゐる 山本こうし

〇 一頭の重みに傾ぎ風露草 宮坂恵子

 中西夕紀

 風露草吸ひつくやうに止まる虫 飛田小馬々

〇 黄菅なる交響楽の端にをり 櫂　未知子

 夏霧や眼下に小諸光帯び 北原みゆき

 喜雨ふくむ雲がぐんぐん走りくる 大矢知順子

 一頭の重みに傾ぎ風露草 宮坂恵子

 くぼ六茶

 しがみつき眼ばかり動く蜻蛉かな 前田恵美

 白シャツの君を好きをり山の蝶 中西夕紀

 亡き母の過去を追ふ旅道をしへ 山本こうし

 腰おろしたちまち蟻のえじきなり 内堀たづ子

〇 暗号のごと光り合ふ露の玉 飛田小馬々

 野中　威

 人声は地を這うてくる車百合 小川雪魚

 咲くほどに桃色淡き下野草 小山久米子

 みづうみの一枚欲しき夏の霧 櫂　未知子

 雲海にうもれて青き深海魚 青木順子

〇 一頭の重みに傾ぎ風露草 宮坂恵子

 山本こうし

 夏霧をはつかに纏ふ顔なりけり 櫂　未知子

〇 少年に追ひ越されたる道をしへ 飛田小馬々

 黄菅なる交響楽の端にをり 櫂　未知子

 夏蝶の山気を纏ひ来たりけり 野中　威

 一頭の重みに傾ぎ風露草 宮坂恵子

 内田明夫

 吾亦紅年より老けて見らるる日 飛田小馬々

 深奥に辿り至れば吾亦紅 小川雪魚

 みづうみの一枚欲しき夏の霧 櫂　未知子

 呼ぶ声のいつかかすれて黄菅原 中西夕紀

〇 夏霧の山道下るオープンカー 小西弘子

 関　隆夫

 田に帰へる日数かぞへる夏茜 内田明夫

 亡き母の過去を追ふ旅道をしへ 山本こうし

 暗号のごと光り合ふ露の玉 飛田小馬々

〇 野に在つて威張らぬ我や風露草 内田明夫

 山の神奉る社や花野道 小見戸　実

 飛田小馬々

 踏みし草すぐに戻りて蜻蛉かな 中西夕紀

 夏霧や色濃き花を愛でをれば 島木　翠

 呼ぶ声のいつかかすれし黄菅原 中西夕紀

 夏蝶の山気を纏ひ来たりけり 野中　威

〇 一頭の重みに傾ぎ風露草 宮坂恵子

 前田恵美

〇 老鶯や極楽の風浅間より 小見戸　実

 踏みし草すぐに戻りて蜻蛉かな 中西夕紀

 世の憂さを目玉回して夏茜 関　隆夫

 夏霧や色濃き花を愛でをれば 島木　翠

 恋人を下界に忘れ風露草 櫂　未知子

 内堀たづ子

 夏霧や色濃き花を愛でをれば 島木　翠

〇 亡き母の過去を追ふ旅道をしへ 山本こうし

 高峰吟行柳蘭の紅と会ふ くぼ六茶

 高原の花野の中へ花図鑑 くぼ六茶

 保身なら棘もいじらし夏薊 くぼ六茶

 青木順子

 とんぼうもてふも懐こき夏山は 野中　威

 委ねるといふさざなみの風露草 島木　翠

 岩鏡靴のタッセル揺らせゐる 山本こうし

〇 夏あざみ一本ゆるるふと帰心 野中　威

 斑猫がにゃんと言うなら信じよう 河西志帆

 小山久米子

 世の憂さを目玉回して夏茜 関　隆夫

〇 名を問へばきりつと返事夏薊 小西弘子

 夏霧や眼下に小諸光帯び 北原みゆき

 恋人を下界に忘れ風露草 櫂　未知子

 高原の花野の中へ花図鑑 くぼ六茶

 小川雪魚

 白樺の高さに来たり夏帽子 島木　翠

 道をしへ農耕民族はこちら 河西志帆

 委ねるといふさざなみの風露草 島木　翠

〇 花涼しその名を口にする人も 前田恵美

 車百合心に殖やしつつ戻る 中西夕紀

 小見戸　実

 この風の匂ひ懐かししもつけ草 大矢知順子

〇 雲海にうもれて青き深海魚 青木順子

 しがみつき眼ばかり動く蜻蛉かな 前田恵美

 吾亦紅年より老けて見らるる日 飛田小馬々

 亡き母の過去を追ふ旅道をしへ 山本こうし

 宮坂恵子

 少年に追ひ越されたる道をしへ 飛田小馬々

 世の憂さを目玉回して夏茜 関　隆夫

 黄菅なる交響楽の端にをり 櫂　未知子

 とんぼうもてふも懐こき夏山は 野中　威

〇 道をしへ月への道を教えよか くぼ六茶

 小西弘子

 高原にわけて色濃し夏薊 前田恵美

 高峰の今雲の中お花畑 小山久米子

〇 斑猫がにゃんと言うなら信じよう 河西志帆

 とんぼうもてふも懐こき夏山は 野中　威

 夏薊あさぎまだらを放ちけり 宮坂恵子

 大矢知順子

〇 保身なら棘もいじらし夏薊 くぼ六茶

 老鶯や極楽の風浅間より 小見戸　実

 夏霧や色濃き花を愛でをれば 島木　翠

 呼ぶ声のいつかかすれて黄菅原 中西夕紀

 虫乗せていよよ華やぐ夏あざみ 中西夕紀

 河西志帆

 保身なら棘もいじらし夏薊 くぼ六茶

 黄菅なる交響楽の端にをり 櫂　未知子

〇 暗号のごと光り合ふ露の玉 飛田小馬々

 喜雨ふくむ雲がぐんぐん走りくる 大矢知順子

 恋人を下界に忘れ風露草 櫂　未知子

 島木　翠

 夏霧をはつかに纏う顔なりけり 櫂　未知子

 夏薊一本ゆるるふと帰心 野中　威

〇 みづうみの一枚欲しき夏の霧 櫂　未知子

 この風の匂ひ懐かししもつけ草 大矢知順子

 斑猫がにゃんと言うなら信じよう 河西志帆

 北原みゆき

 似て非なる花へ踏みゆく車前草 小西弘子

 それぞれにお花畑に沈みけり 小西弘子

 黄菅なる交響楽の端にをり 櫂　未知子

 熊注意の看板隠す夏の草 小西弘子

〇 一頭の重みに傾ぎ風露草 宮坂恵子